

成田国際空港CBRNEテロ対策合同訓練 5月21日



関係機関が連携して対応

成田空港内でテロ災害が発生した場合の対応強化を図るため「成田国際空港CBRNE^{シーバーン}テロ対策合同訓練」が成田空港第2ターミナルで行われました。CBRNEとは、化学・生物・放射性物質・核・爆発物の総称。訓練は2部構成で、第1部では爆発物の発見から空港外への搬出までの処理を行い、第2部では災害発生時の避難誘導や救出救助活動などを実施しました。本番さながらの緊迫感の中、16の関係機関が連携して不測の事態への備えを確認しました。



①爆発現場で特殊部隊が救助②爆発物を専用容器に格納する③安全な場所へ避難誘導④医師が負傷者の応急救護に当たる

ノルディック・ウォーク体験 5月14日



新緑の中をさっそうと

専用のポールを使って歩くノルディック・ウォークの体験教室が、三里塚コミュニティセンターで開催されました。全3回のうち初回のこの日は、室内で基礎知識を学んだ後、実際にポールを持って外へ。参加者は「前を見て、腕を大きく動かす」という講師からのアドバイスを受け、緑あふれる公園内でポールを使った歩き方を実践しました。参加者の一人は「ポールを使うと前に進みやすく、早く歩けて驚いた」と話していました。



講師に見守られながら実践

チャレンジ料理教室 5月30日



自分だけのケーキが完成

初夏のスイーツ作りに挑戦をテーマに「チャレンジ料理教室」が国際文化会館で開催されました。この日は10人の小学生がレアチーズケーキ作りに挑戦。子どもたちは先生から作り方を教わった後、土台となるクッキー生地を準備し、クリームチーズにヨーグルトなどを入れて混ぜ、型に流し込みました。最後は、生クリームとフルーツを使ってデコレーションし、自分だけのオリジナルケーキの完成に喜んでいました。



生地の混ぜり具合を友達と確認



がんばろう成田空港開港記念フェア 5月23日



これからの発展を願って

成田空港が開港してから今年で43周年となることを記念して「がんばろう成田空港開港記念フェア」がイオンモール成田で開催されました。会場には空港内で使われる機内食積み込み車両やコンテナけん引車両が展示されたほか、バンド演奏やクイズ大会などの催しも行われ、多くの家族連れでにぎわいました。また、式典では成田空港のこれまでの歴史を振り返った後、今後の発展を願う関係者からの応援メッセージが送られました。



①式典で成田空港の歩みを紹介②車いす用リフトを体験③客室乗務員との記念撮影も④バンド演奏で会場を盛り上げる

伝統文化親子茶道教室 5月16日



和の心を学んで

茶道を通して行儀や作法、思いやりの心を育ててもらおうと「伝統文化親子茶道教室」が中央公民館で行われ、5歳～高校1年生の18人が参加しました。全8回のうち初回のこの日は、初めて参加した人と経験者に分かれて練習。動作の基本となる歩き方やマナー、ふくさの使い方などを学びました。最後に経験者がお茶をたてる一連の動作を行うと、ほかの参加者は動作を覚えようと真剣な表情で見入っていました。



ふくささばきを教わる

9人制バレーボール教室 5月21日



ラリーが続く楽しさを体験

大人にもバレーボールを楽しんでもらおうと「9人制バレーボール教室」が市体育館で開催されました。9人制バレーボールは6人制と比べてラリーが続きやすく、粘り強いゲームを楽しめることが特徴。参加者はアンダーパスやオーバーパスのほか、試合を想定したレシーブなどを練習しました。講師からボールを受ける姿勢を教わると、低いボールや強打にも対応できるようになり、声を掛け合いながら何度もラリーをつないでいました。



正確にレシーブを受ける